

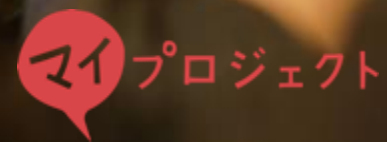
Z T U A

HIROSHIMA

2024



全国高校生MY PROJECT AWARD 2024
広島県Summit
実施報告書





マイプロジェクト？

高校生の「マイ (My)」を起点とした社会へのアクションです。マイプロジェクトでは、高校生が自分自身の実現したいこと/変えたいことをテーマにプロジェクトを立ち上げ、正解のない問題に向き合い、実際にアクションをすることを通じて学んでいきます。

全国のマイプロジェクト実践高校生の数は10万人を超えています。



<マイプロジェクト広島2024運営体制>

【主催】

一般社団法人まなびのみなと

【共催】

株式会社テレビ新広島、広島大学スタートアップ推進部門、
全国高校生マイプロジェクト実行委員会

【協力】

マイクロンメモリジャパン株式会社、安田女子中学高等学校

【後援】

文部科学省、公益財団法人マツダ財団、広島県、広島県教育委員会、広島市教育委員会

【支援パートナー】

株式会社良和ハウス、JA共済連広島



参加高校生
73名(13校・36PJ)

社会人サポーター・
ファシリテーター
40名





引率・観覧
78名

その他運営スタッフ

28名



	2021年度 ※オンライン実施	2022年度	2023年度	2024年度
プロジェクト数	25PJ	16PJ	32PJ	36PJ
参加高校生人数	73人	25人	70人	73人
参加学校数	13校	9校	17校	13校
引率・観覧	7人	10人	60人	78人

過去最多となる
36プロジェクト・73人が参加。

ただし参加学校数としては昨年度より減っており、より多くの学校から多様なプロジェクトの参加を募っていくことが今後の課題となる。

観覧者数は年々増えており、学校関係者だけではなく、民間企業・団体の方々の参加が増えている。愛知県の教員や岡山県の団体職員の方をはじめとして、県外からの参加も見受けられた。

また、「自分はまだプロジェクトを始めていないが、同世代の実践を参考にしたい」という高校生の観覧参加が10名あったほか、中学生や史上最年少となる小学5年生の観覧参加もあった。



～高校生の発表について～

全10教室に分かれ、
各教室で発表と対話を行いました。
発表後の対話時間を15分間と長く設定し、
サポーター2名が対話に参加することで、
**より多角的により深く自らのプロジェクト
を捉えなおす時間を創っています。**

前日から続いた大雪の影響により、参加を見送った高校生もいましたが、大学生が高校卒業後のプロジェクトを代わりに発表し、高校生にとって近い未来の活動をイメージする機会となりました。



高校生の発表

10分



サポーター・
高校生との対話

15分



～対話の進め方について～

社会人サポーターの皆さんは、
下記の3観点を意識して対話を進めます。

- ①主体性
- ②協働性
- ③探究性

**フィードバックやアドバイスに終始せず、
問いを投げかける**ことで、高校生たちが自身の言葉で過去を振り返り、未来のアクションや在り方を再度考える時間となるよう意識しています。

アクション(活動実践)	
オーナーシップ (主体性)	自らの意志を持ってゴールの設定や取り組みの推進をしてきたか
	目指す未来に向け、好奇心をもって試行錯誤や挑戦をしてきたか
コ・クリエーション (協働性)	多様な人たちと対話し、協力しながら取り組んできたか
	独りよがりではなく周囲に好影響を与え、価値を創りだしてきたか
ラーニング (探究性)	目指す未来や本質に迫る問いや仮説を描いてきたか
	プロジェクトを通じて自分なりの学びを得て、次へ活かそうとしているか



～大学生の参画について～

総合司会を務めたのは、福山大学2年生の長尾実輝さん。高校3年生の時にマイプロジェクトアワード2022広島県Summit及び全国Summitにも出場しました。

長尾さんを含め、広島の高校生を応援したいという大学生10名が運営スタッフとして参画してくれました。

県外の大学に進学してもなお広島の高校生に関わりたいと駆けつけてくれる大学生もあり、**マイプロを起点とした関係性の継続が生まれています。**

マイプロジェクト卒業生は**全国47都道府県**に！

地域Summitの開催地域に絞っても**17府県**に及びます！ (2025年2月現在)

日本中の仲間とつながり、皆さんの世界を広げる機会があります。



2024
広島県
Summit

2/2 (日)



出場プロジェクト 紹介

全37チーム

+

大学生マイプロ3組

学校	プロジェクト数
広島県立安芸府中高等学校	1
広島県立大崎海星高等学校	9
広島県立廿日市西高等学校	1
広島県立熊野高等学校	1
広島県立広島井口高等学校	2
広島県立広島叡智学園高等学校	3
広島県立三原高等学校	5
広島県立油木高等学校	1
広島県立吉田高等学校	1
広島市立美鈴が丘高等学校	1
崇徳高等学校	1
広島修道大学ひろしま協創高等学校	4
安田女子高等学校	6

A ホームチーム

バカロレア卒業生による大学での新たな挑戦

広島大学

正しい歯の磨き方を伝える絵本

県立井口高校

少しの努力で変わること

広島修道大学ひろしま協創高校

島の味憶

県立大崎海星高校

サポーター



今田 順さん
(ブックキュレーター)



黒木 真由さん
(合同会社とこらぼ)

B ホームチーム

笑顔と楽しさ詰まった健康和風プリン！

県立三原高校

プログラミングでレベルアップ

県立大崎海星高校

みんなのお困りごとを解決！
食堂の最後尾プレート！

安田女子高校

あなたの筆跡、
そのままデジタルへ「ScriptSync」

県立広島叡智学園高校

サポーター



伊垣 莉奈さん
(株式会社Rejoui)



河口 亮介さん
(広島大学スタートアップ
推進部門)

C ホームチーム

エシカル消費で繋げる地域の輪

県立熊野高校

三原本町健康プロジェクト（福笑い）

安田女子高校

table talk

県立大崎海星高校

地元のすごい人発見隊～君は何知ってる？～

県立三原高校

サポーター



大島 梓さん
(株式会社マザーハウス)



後藤 峻さん
(コワーキング&
コミュニティハブbench!)

D ホームチーム

海星バカを増やそう！

県立大崎海星高校

生理の辛さを知ってほしい

県立三原高校

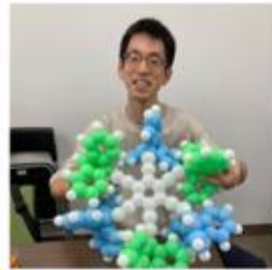
プランクトンカードゲームを作ろう！

安田女子高校

平和ノートを改善！

県立井口高校

サポーター



石田 純一さん
(株式会社ベネッセ
コーポレーション)



山口 晴希さん
(NPO法人Peace Culture
Village/こどもこころ食道)

Eホームチーム

三原本町健康プロジェクト～けん玉を使って～

安田女子高校

WHO AM I!?～SOGIEで自分を考える～

県立廿日市西高校

うちうみ水槽

県立大崎海星高校

カビンさんを救いたい！！season2

広島修道大学ひろしま協創高校

サポーター



植月 真一郎さん
(マツダ株式会社)



清水 綾子さん
(株式会社スタジオモブ)

Fホームチーム

行って、見て、出会う：災害ボランティアで広がる未来

叡啓大学

命の尊さ～ペットの命とは～

県立三原高校

演技×コミュニケーション

県立大崎海星高校

カクナキセカイの実現に
～崇徳高校新聞部の挑戦～

崇徳高校

サポーター



森重 祐治さん
(株式会社テレビ新広島)



八巻 淳さん
(広島県商工労働局)

Gホームチーム

アイシングレモンクッキーの
パッケージデザイン

県立広島叡智学園高校

三次人形を現代に

県立日彰館高校

外国人技能実習生への偏見をなくそう

県立三原高校

伝統工芸品の後継者不足

広島修道大学ひろしま協創高校

サポーター



荒畦 悟さん

(文部科学省トビタテ!
留学JAPAN事務局)



伊達 文香さん

(株式会社イトバナシ)

Hホームチーム

今考えるべき命の守り方

広島修道大学ひろしま協創高校

みんなに知ってほしい神石高原町の誇り

県立油木高校

絵からつながるプロジェクト

県立大崎海星高校

長寿園プロジェクトあずきバーチーム

安田女子高校

サポーター



熱田 健輔さん

(株式会社良和ハウス)



谷口 千春さん

(ミナガルテン/
(株)ミナサカ / (株)DoTS)

I ホームチーム

平和× 教育変化

県立安芸府中高校

長寿園健康つながりプロジェクトおかきチーム

安田女子高校

人工漁礁による海洋資源保護

県立広島叡智学園高校

島のビオトープ

～自然と触れ合うプロジェクト～

県立大崎海星高校

サポーター



浦田 愛さん

(NPO法人
ほしはら山の学校)



谷村 仰仕さん

(呉工業高等専門学校)

J ホームチーム

我ら釣り隊！なまず大使

福山大学

湯来町活性化プロジェクト

広島市立美鈴が丘高校

海星ドリームクラフト

県立大崎海星高校

Grab ideal yourself

～思い描いた“理想の自分”をさがして～

県立吉田高校

サポーター



前田 吉広さん

(福山大学
大学教育センター)



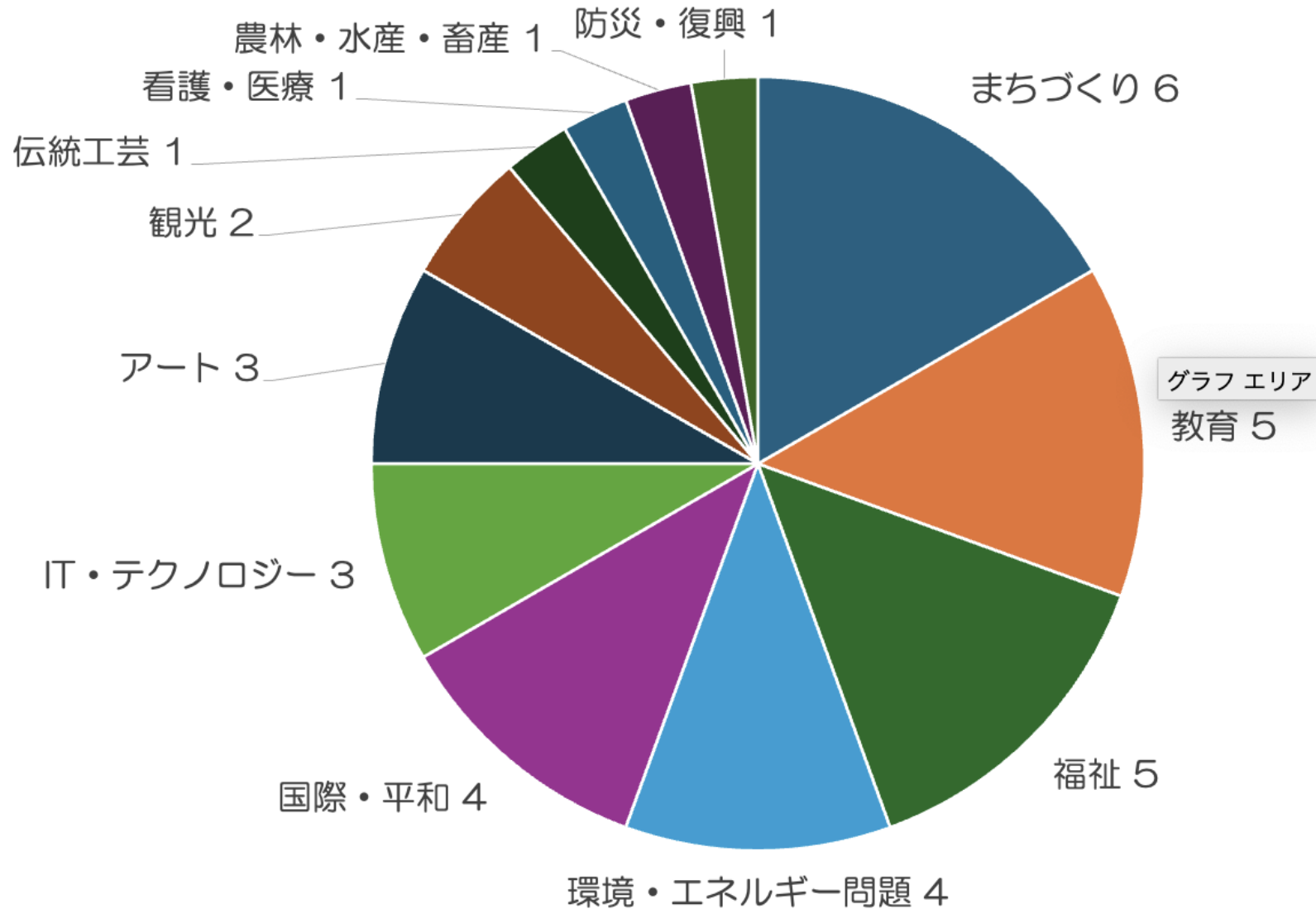
反岡 和宏さん

(大崎上島町観光協会)

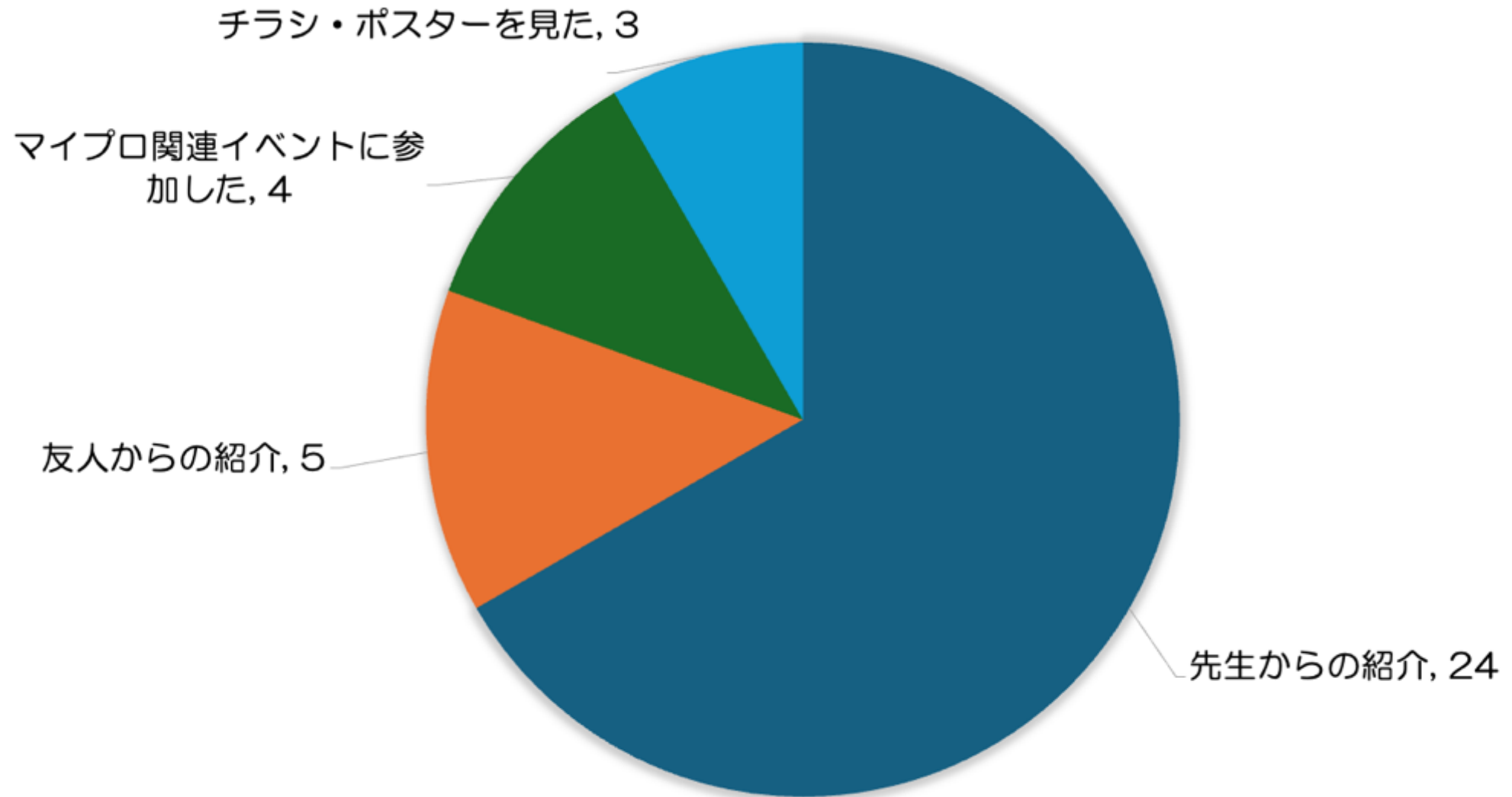
<サポーターの皆様> ※敬称略

No.	氏名	ご所属	役職
1	熱田 健輔	株式会社良和ハウス	部長
2	荒畦 悟	文部科学省トビタテ！留学JAPAN事務局	プロジェクトディレクター
3	伊垣 莉奈	株式会社Rejoui	データサイエンティスト
4	石田 純一	株式会社ベネッセコーポレーション	キャリア・探究プロジェクト 商品リーダー
5	今田 順	ブックキュレーター／まちづくりプランナー	会社員/個人事業主
6	植月 真一郎	マツダ株式会社	主幹
7	浦田 愛	特定非営利活動法人ほしはら山のがっこう	ふるさと自然体験塾長
8	大島 梓	株式会社マザーハウス シミント広島店	店舗統括責任者
9	河口 亮介	広島大学 スタートアップ推進部門	アントレプレナーシップ教育推進リーダー
10	黒木 真由	合同会社とこらぼ	業務執行社員
11	後藤 峻	コワーキング&コミュニティハブ bench!	オーガナイザー
12	清水 綾子	株式会社スタジオモブ	伝える翻訳者
13	反岡 和宏	大崎上島町観光協会	事務局長
14	伊達 文香	株式会社イトバナシ	代表取締役
15	谷口 千春	ミナガルテン／(株) ミナサカ／(株) DoTS	代表／代表取締役／代表取締役社長
16	谷村 仰仕	呉工業高等専門学校	地域連携コーディネーター
17	前田 吉広	福山大学 大学教育センター	講師
18	森重 祐治	株式会社テレビ新広島 業務部兼メディア戦略部	副部長
19	八巻 淳	広島県 商工労働局	主査
20	山口 晴希	NPO法人Peace Culture Village/こどもごころ食道	①共育事業統括、②代表

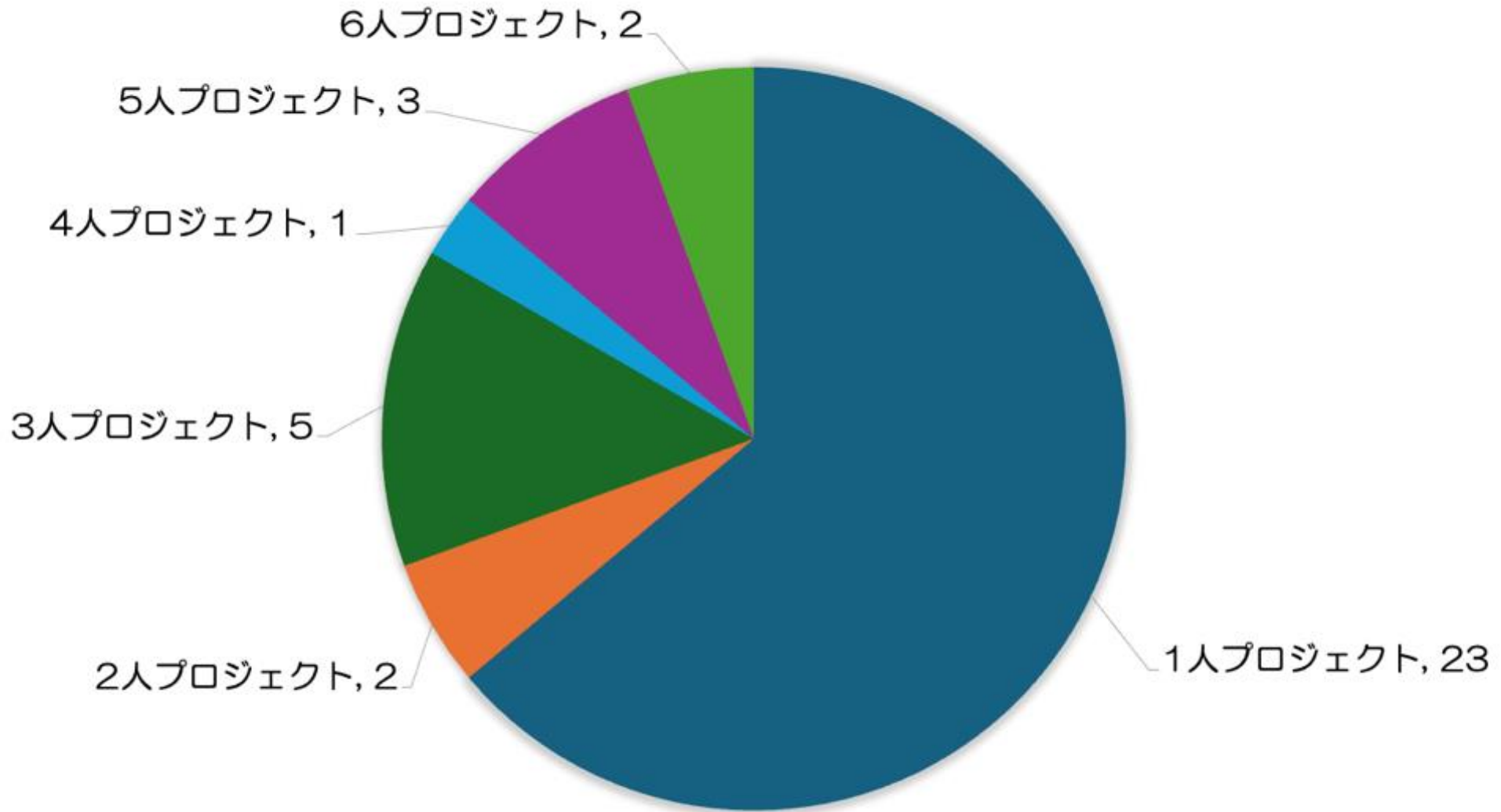
<プロジェクトテーマの分野>



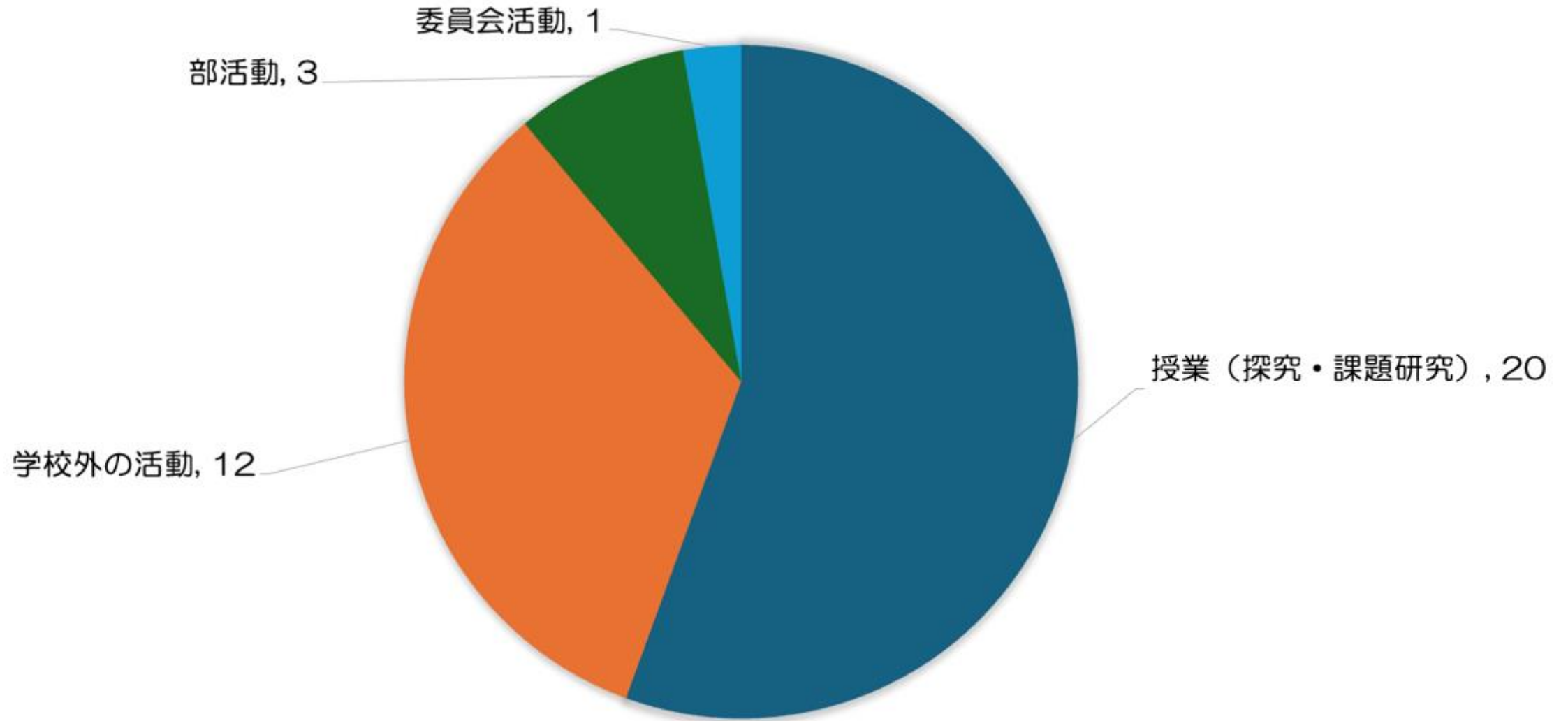
<マイプロジェクトアワード認知経路>



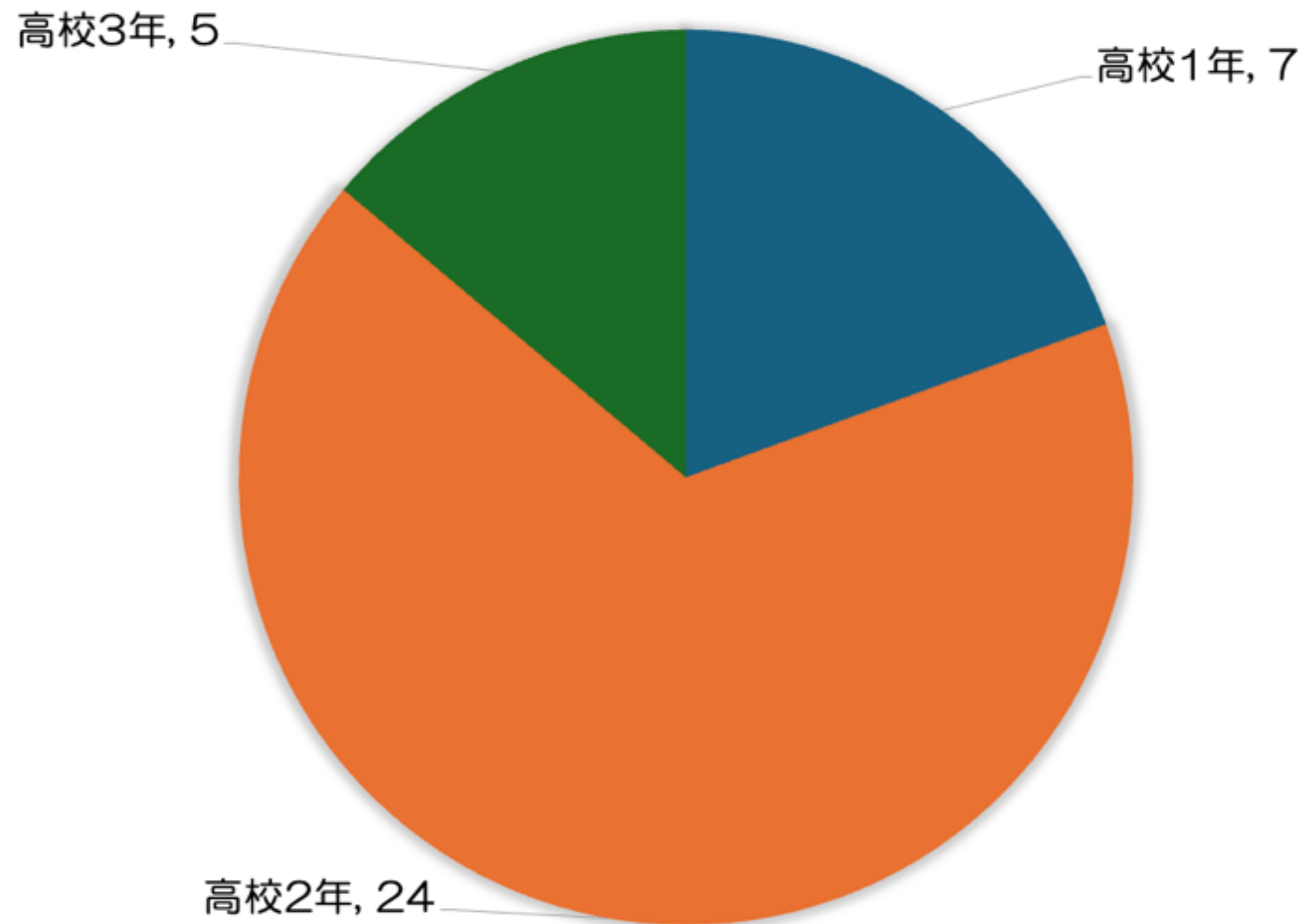
<プロジェクト実践人数>



<きっかけとなった活動>



<参加学年>



<アンケート>

4段階評価で、
広島県Summitの満足度は3.81、
地域Summit全体の満足度平均は3.78、
オンラインSummit全体の満足度平均は3.80となりました。

Summit名	全体の参加満足度	サポーターとの対話満足度	得られた学びの度合い	回答数 (=N)	回答率	参加者数
広島県Summit	3.81	3.86	3.81	44	60.2%	73
その他地域Summit	3.78	3.80	3.81	1225	63.2%	1938
オンラインSummit	3.80	3.83	3.80	698	45.6%	1531

(参加高校生の感想コメント)

- ・ サポーター、参加者、観覧者の**みんながマイプロジェクトに本気だった**ところです。みんな終わった後に何かたくさん物を得られたというような顔をしていたのが印象的でした。(満足度4)
- ・ **レベルの高い洗練された空間で**探究のプロジェクトを交流でき、自分の探究を深めることができ、また今後の活動の励みにもなったから。(満足度4)
- ・ **自分に足りないことはなにかをととても感じる事ができた**からです。また、たくさん人のスライドやプロジェクトのきっかけ・進め方などを聞いて参考になる点が多かったからです。新たな発見をたくさんすることができました。(満足度4)
- ・ 新しい価値観に出会いすぎて**いい意味で頭がパンクした**1日だった。発表者の皆様一人一人の探究への強い熱意が感じられ、自分自身を見つめ直すきっかけを作ることができた。(満足度4)
- ・ **普段は否定的なコメントを受けることが多いが**、こちらでは前向きな言葉を沢山頂け、世界が広がっていくから(満足度4)



(参加高校生の感想コメント)

・会場全体が和気あいあいとしていて、最初は緊張でどうなるか不安でしたが、最後には**笑顔が溢れるくらい自分が出せて**、伝えたいことを伝えることができ本当に楽しい一日でした！！あっという間でした！笑 (満足度4)

・**全員がすごい志があってびっくりした**し意見交換の場もとても充実していた。同じ高校生とは思えない程、みんな発表の内容やプレゼンの仕方のレベルが高くて、本当に感動したし、勇気をもらえたから。(満足度4)

・プレゼンの場だけではなく昼食の時にもたくさんお話をすることができました。そこで実際に**大学生の方の話から高校生の今だからこそできることや今しておいた方がいいことなどを学ぶことができました**。(満足度4)

・今まで出会ったことのない世界に出会えて楽しかったけど**積極性が足りなかったと感じた**から。(満足度3)

・自分の**プレゼン、知識量、熱量における完全な実力不足**。この学びの祭典の場を完全に活かせなかった。ダメ出しも欲しかった。悪い点を無くし良い点に変えたいから。(満足度2)



(観覧参加者の感想コメント)

- ・ 学生が自らの思いをしっかりと発表・表現し、それをしっかりと周囲の学生や**大人が耳を傾け受け止める**といった**体験自体にも大きな価値がある**のだなと改めて感じました。(満足度4)
- ・ 自身が**地域の仕事をする中で見つけていない地域の課題のヒントがたくさんあった**ので同じプロジェクトのメンバーにも観覧を勧めたいとおもいました。サポーターの方達のアドバイスも真剣で聞き応えがありました。(満足度4)
- ・ 観覧席でお話をさせていただいた方の中に発表者の親御様がいらっしゃる、その方がお子様の活躍される様子を見て、感心されたとのことをお聞きしました。親御様に限らず、**生徒が外で活躍する姿はやはり心を打たれる**ものがあります。そういった経験をや学びをより多くの方と共感したいから。(満足度4)
- ・ 高校生の熱い想いを感じられた。が、**もう少し準備をして臨んでもいいかなあという内容のものもあったのは多少残念**に感じられたプレゼンもあった。(満足度3)



(観覧参加者の感想コメント)

- ・ファシリテーター等の運営の方々が**生徒の緊張を解そうと工夫されていたのが印象的**であった。また、生徒の発表もしっかり準備されており、概ねサポーターの方からの質問に答えており、主体性を持って自身のプロジェクトに携わっているのが感じられた。(満足度4)
- ・着眼が素晴らしいプレゼンがあった。大人や教員目線ではなかなか気づかない、柔軟な視点を大切にしなければならないと感じた。参加高校生の**今後の活躍が楽しみ**でならない。(満足度4)
- ・**中学生には、学校選びのひとつの視点になる**と思った。中高一貫校の生徒には、未来の自分の姿を想像できる。プレゼン能力は、今後、絶対に役に立つ。自分から始めるアクションは、何を課題に思ってもいいのが楽しい。(満足度4)
- ・自身の小さな問題をマイプロジェクトとして、解決していくのは、遊び感覚で、**実社会で必要なとなるスキルを身につけられるいい方法**だと思いました。(満足度3)

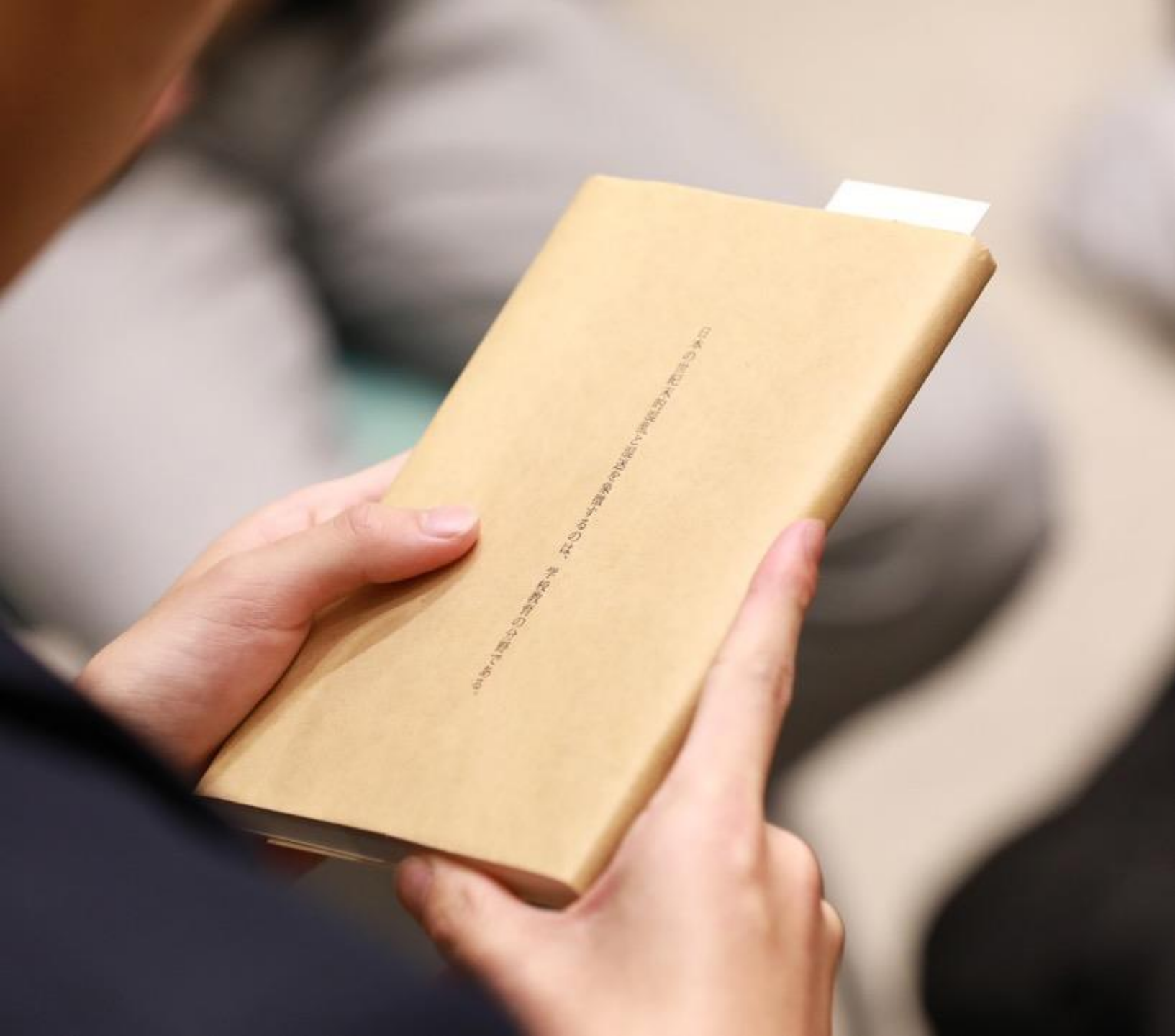


D

ホームチーム



<本を贈る企画>



広島の高校生に、
本を贈る。

クラウドファンディング”For Good”を活用し、44名の支援者から381,000円の支援をいただきました。




- みんなの応援コメント
- りな
プロジェクトの成功を祈っております！ 高校生の皆さんに素敵な出会いがありますように…！
2024年12月25日
 - ゆっこ
素敵な本との出会いが続きますように
2024年12月25日

クラファン支援者とサポーターの皆さんに選書した本を、閉会式で手渡しました。中身の見えないブックカバーには、選書人がその本から抜き出した一節を記しています。







正解のない探究的な学び。当たり前前のことですが高校生は不安に襲われ、誰を頼ればいいのかわからなくなっています。

自分なりの答えを見つけ言葉にできる人もいれば、そうではない人もいます。

勇気を持ってアクションを起こし、マイプロジェクトアワードに参加する高校生が、悩める同世代の仲間たちと出会えますように。

私たち広島のおトナはいつでも応援していますという気持ちで、本を通じていつか皆さんに届きますように。

<今後について>

動画選考を経て5プロジェクトが
地域Summit Advancedに参加。
うち2プロジェクトが全国Summitへの参加します

10/15～12/8 17:00
エントリー

各高校・自治体でプロジェクト/探究に取り組む。各地事務局が一部サポート等を実施。エントリー期間中、高校生がWebよりエントリー。 ※一部地域除く

高校生が
探究/PJ実施
※各高校や
自治体が伴走

12～2月 地域Summit
@対面・オンライン

地域ブロック・都道府県単位で開催。24年度は17箇所+オンライン12回の計29日程実施。都道府県単位のSummitは地域連携団体と共に運営。できる限り多くの高校生が書類通過し、地域Summitに参加できることを目指します。

青森県 岩手県 山形県 宮城県 福島県 新潟県 長野県 岐阜県
愛知県 福井県 京都府 広島県 島根県 山口県 長崎県 宮崎県 沖縄県

オンライン12日程

書類選考

2月 地域Summit
Advanced
@オンライン

動画選考の結果招待された各地の上位4-6組程度が参加（計100組程度）。招待プロジェクトは地域Summit特別賞を受賞。単なる選考ではなく、発表と対話の機会とする。

2/22
(土)
実施

動画選考

3月 全国Summit
@対面（東京大学）

Advancedの結果招待された48組が参加。サポーター特別賞、文部科学大臣賞授与。Day2サポーターとして鈴木寛様、今村久美など

3/28

Kickoff DAY

3/29

Day 1

3/30

Day 2

<全国Summit出場2プロジェクト>

他の海藻は？

etc.



うちうみ水槽(広島県立大崎海星高等学校)

「魚が好き」。そんな想いをベースに理科室で水槽を置くことから始まったプロジェクトが、地域での展示・アート活動等に広がっていく変化の大きさと柔軟さがとても印象的でした。特に「地域の魅力を発信する」という目的が、「海洋資源の保護という地域課題解決」に変わったところが特徴的で、学びながらプロジェクトが成長していることを体現されていると思いました。アマモの生育を小学校と連携しながら地域内に広げ、海に植えていくという生態系を守るための壮大なアプローチも素晴らしく、地域内外のロールモデルになると期待しております。



カクナキセカイの実現に～崇徳高校新聞部の挑戦～(崇徳高等学校)

歴史ある部活動と地域の歴史を織り交ぜた魅力的な取り組みでした。地域が抱えてきた歴史を、その地域で育った一人ひとりの部員が受け止め、「使命感」という主体性となり、「伝える」ことにこだわった挑戦は目を見張るものがありました。また、「新聞」の可能性を信じ、その特性を引き出しつつ、「伝える」から「遺す」活動へと昇華させていくプロセスも見事だと評価しました。新しい価値を生み出すためにも、「これまで」(歴史)を見つめ直すことが大切であることを気づかせ、過去からも新しい価値を生み出せることができる取り組み事例として、ロールモデルに相応しいと考えました。

<総評>

■サポーター

大谷一夫(美濃市 地域プロジェクトマネージャー)

鈴木健(一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム マネージャー)

■ファシリテーター

酒井梨花(北海道教育大学)

(大谷一夫)

広島県において、様々な「学びのロールモデル」が生まれていることを実感できた刺激的な時間でした。個人の好きを起点に、コンパクトな島で様々な大人を巻き込みながら広がっている3つのプロジェクトは、食文化の継承・水産漁業の活性化・海洋資源の保護等、地域の豊かな未来に繋がる大きな可能性を感じました。新聞という切り口で地域の歴史を未来に繋げるべく社会を巻き込んでいるプロジェクトは、今後の部活動のロールモデルに繋がるポテンシャルを秘めており、高校生ながら最先端のテクノロジーを学び、社会の課題を解決しようと活動する姿には、これからの社会起業家を目指す方の希望になるように感じました。「広島未来は明るい!」、そう実感させて頂いた皆さんに、心から拍手を送らせてください。

(鈴木健)

広島県の多様性を感じる時間でした。最も印象に残ったことは、各プロジェクトが目の中の事実から目を背けず、素直な心で受け止め、自分なりの創意工夫を続けていこうとしている向上心でした。また、地域性を前面に出されているプロジェクトが多く、日頃から皆さんの中に「地域」ということが強いファクターとして響いていることが感じられ、とても嬉しい気持ちになりました。今日のこの日は1つのマイルストーンに過ぎません。明日からさらに皆さんのプロジェクトが磨かれ、さらに多くの人を巻き込みながら、世の中に新しいねりが生み出されることを楽しみにしています。ありがとうございました!

卒業生コミュニティ 「マイプロジェクトネクストLab」

【運営】マイプロジェクトネクストLab事務局

2025年4月よりマイプロジェクトを経験した卒業生たちが集うコミュニティ（通称・マイプロジェクトネクストLab）を立ち上げ。

地域の大人に助けられながらアクションを起こしてきた高校生たちがファシリテーションやコーチングを学び、今度は**高校生を支える側となり地域に戻ってくる仕組み**を構築します。

マイプロをきっかけに知り合った高校生たちと**卒業後も関係性を継続**すること、また他県から進学してくる大学生たちにも**高校生のプロジェクト支援を通して広島を知ってもらうこと**を目指しています。

※23年度マイプロジェクト実践者数

